



こうきた 9月号

杉並区立高円寺北子供園

考えて行動する子どもを育てる

園長 須田なぎさ

今年の夏は、4年ぶりに高円寺に阿波踊りが戻ってきました。私は、初めて生の踊り、鳴り物、そして連ごとに違う掛け声などを体感し、高円寺の熱気に心が揺さぶられました。

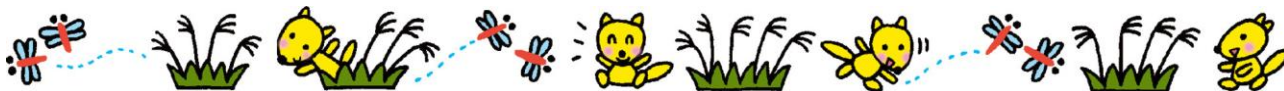
また、いろいろなスポーツで感動の場面がたくさんありました。中でも、夏の風物詩である高校野球は、107年ぶり全国制覇の慶応高校が話題になりました。高校野球の慣習を覆す丸刈りなし、厳しい練習なしなどが話題の森林監督のインタビューで、100人以上の部員がいる中で、一人ひとりが役割をもって活躍しているという言葉が印象的でした。

「監督の采配的中！」と試合後の見出しになるように、選手たちは、監督の指示でプレイをするものと思っていましたが、慶応高校は違うようです。ベンチ入りしていない部員の中には、データ分析をして対策を考える役割の部員がいるようです。100人以上いる部員の中で、ベンチ入りできるのは20名です。それ以外の8割近くの部員が、野球を楽しみに部活に参加できるのは、自分で考えて行動する力のある集団なのだと思います。

ある研修で「教師（大人）が良かれと思って手取り足取り教え込むと、子どもは結果として思考停止に陥っていることがある。」と言われました。『教え込む』だけでは、慶応高校のような考える部員は育っていかないのだと思います。研修会では、思考停止にならないようにするために、「多様な選択肢を用意する。選択肢の特性を理解する機会を作る。」などの工夫が必要とのことでした。正解を知ることが目的ではなく、正解に至る過程の中で試行錯誤し、思考を巡らせることが大切なのだと思います。森林監督も「勝利と結果だけを求めるのではなく、一人ひとりの成長、チームとしてたくましく強くなろうとやってみると自然と勝利にも近づいてくる。」と言っています。

子供園では、やりたいことや楽しいことを自分で見付けて、保育室の用具や教材から発想を膨らませ、「いいこと考えた！」と遊んでいます。その遊びの中で、幼児は楽しみながらたくさんのことを考えています。例えば、水遊びで、石鹸で泡を作って遊んだときには、先生は、固形石鹸、おろし金、料理に使うボール、泡立て器、スポンジ、水（多様な選択肢）・・・などを用意します。どの道具を使うか幼児が自分で考え、今までの経験や友達や先生のやっている姿をまねしたり、自分なりに試してみたり（選択肢の特性を理解）していました。泡ができると、「もっといっぱい！」「もっとふわふわに！」「アイスクリームみたいになりたい！」などを思いつき楽しめます。うまくいかず、繰り返し挑戦する子もいます。いろいろやって楽しむ遊びの中で、実は子どもたちはたくさん考えているのです。そして、「考えてできた！」という経験が大切になります。

2学期も、それぞれの年齢にあった教材や道具を使って、楽しいことを見付けて遊ぶ中で、思考停止することなく、たくさん考えて、悩む機会を作れるようにしていきます。時には子どもにとって「不親切」な大人になって、子どもたちの思考が停止しないようにしてみることも必要なかもしれません。そして、子どもたちが、自分で正解にたどり着けるように、時間がかかっても温かい眼差しで見守り、待つ姿勢も忘れないようにして、考えて行動する幼児を育てていきたいです。



《9月の保育》

★3歳児 うさぎ組

夏休みの間に少し背が伸びてお兄さんお姉さんの顔つきになってきたうさぎ組の子どもたち。夏季保育では久しぶりにうさぎ組のみんなと一緒に過ごす嬉しさを感じていたようです。

まだまだ暑い9月ですが、熱中症に気を付けながら水遊びをしたり、しっぽとりやかかけっこなどをしたりして元気に体を動かしていきたいと思います。

また、今月から元気タイムやおはなし会など、地域の方と一緒にやる楽しい活動も増えていきます。安心して遊び、心がわくわくするような経験をたくさん積みながら「子供園って楽しい!」と思えるように保育を行っていきます。

★4歳児 くま組

くま組の保育室に、子どもたちの元気な声が戻ってきました。2学期の初めは、久しぶりの登園に少し緊張する子もいるでしょう。それぞれの気持ちを丁寧に受け止めながら、一人ひとりが安心して自分の好きな遊びを楽しみ、園生活のリズムを整えていけるようにしていきます。

9月とはいえ、暑さの残る季節です。プール遊びや色水遊び、石鹸遊びなどの水を使った遊びも楽しめるようにしていきます。

また、走る、這う、バランスをとるなどのいろいろな動きをしたり、学級のみんなで体操をしたりして、思い切り体を動かすことの心地よさや楽しさを感じられるようにしていきます。

★5歳児 ぞう組

2学期が始まりました。これから少しずつ暑さも穏やかになり、体を動かす心地よさを感じられるようになります。運動会に向けても園庭を活用し、リズム表現を楽しんだり、リレーや綱取りなど友達と力を合わせて進める様々な運動遊びをしたりしていきます。また、今年度は、運動会の係活動等、年長組だからできることを相談したり準備したりしながら、一人ひとりが力を発揮できるようにしていきます。

残暑の疲れが出てくる時期なので、ご家庭でも休息をとりながら、心と体の調子を整えていきましょう。